

4 平成29年度学校経営の重点等

教育目標

校訓―「進取創造」「質実剛健」「敬愛和協」を理念として、知性・徳性を磨き、身体を鍛錬し、その体得体現に努め、人類・社会に貢献する人材を育てる。

1 学校経営の重点

平成29年度スローガン 「躍動！120年の刻 新たなる時代へと翔け」

(1) 重点目標1 「確かな学力」の育成・「個性と能力」の伸長

ア 学力の向上（校訓「進取創造」の具現化）

(ア) 授業改善により多様な学びを準備し、個に応じた指導を通してバランスのとれた「確かな学力」を身に付けさせる。

(イ) 課題解決型学習や探究活動に意欲的に取り組み、多様な他者と協働しながら学びを深め、課題解決能力や情報活用能力そして行動力等を高める。

(ウ) S G H A ソシエイト校として、外部人材を積極的に活用し、異文化等に触れる機会の拡充を図り、国際的な視野で物事を捉え、創造性やチャレンジ精神を持って行動できる人材を育成する。

イ 文武両道の元気で明るい学校づくり（校訓「質実剛健」の具現化）

(ア) 「知・徳・体」の調和の取れた、知性的で豊かな情操と道徳心を兼ね備えた心身ともに逞しい生徒を育成する。

(イ) 学校行事・部活動・生徒会活動・ボランティア活動等の推進によって、成就感・達成感・自己肯定感を高めて生徒の個性や能力を伸ばす。

(2) 重点目標2 地域の伝統校としての「魅力ある学校」づくり

ア 創立120年の伝統校として、地域の活性化を担う学校づくりの推進

(ア) 各種研究指定等に積極的に取り組み、生徒に学ぶ楽しさを実感させて、一人一人がより高い進路目標を達成する「魅力ある進学校」をめざす。

(イ) 生徒の自治能力を高め、主体的な挨拶運動やマナーアップ運動を推進し、地域に元気をもたらし、信頼される柏高生を育成する。

イ ふるさとを愛し、他者を思いやる生徒の育成（校訓「敬愛和協」の具現化）

(ア) 様々な活動の舞台や機会を用意することにより、深い学びに組み込み、地域社会の新たな創造に貢献する人材を育成する。

(イ) 人権尊重の精神を培い、生命に対する畏敬の念と忠恕の精神を育て「多文化共生社会」の実現に主体的に取り組む生徒を育成する。

2 教科指導及び生徒指導（特別活動を含む）の重点

(1) 教科指導の重点

ア 各教科における基礎的・基本的内容を検討し、系統性や指導の適時性にも配慮しつつ継続的な学習指導の充実を図る。また、研究授業や公開授業、校内研修などを通じ、教員の指導力の向上に努める。

イ 生徒の実態に応じた教育課程を編成し、指導方法を工夫するとともに、ものごとに主体的・能動的に取り組む個性豊かで創造的な人材の育成を図る。

ウ 評価の工夫・改善を進め、一人一人の個性や可能性の伸長に努める。

エ コンピュータ等情報教育機器の効果的利用の研究を進め、情報及び情報を得る手段を主体的に選択し活用する能力や情報に対する責任感等を育成する。

- オ アクティブラーニング授業の導入や課題指導の研究を進め、生徒の学習意欲向上や課題解決に向けた自主的な学習態度の育成を図る。
- カ 授業「探究」、「総合的な学習の時間」、読書指導等を通して学力向上の基盤となる「学ぶこと」「知ること」の喜びを理解させる。
- (2) 生徒指導（特別活動を含む）の重点
 - ア 生徒が生徒会行事や各学校行事に積極的に参加する姿勢を育成し、日常生活が活気に満ちたものになるよう努める。
 - イ 生徒が、望ましい生活習慣を確立することで、心身の健康や安全、問題行動の予防につながるよう努める。
 - ウ 生徒の問題行動については、各学年、各部との連携を図りつつ、その予防を第一とするが、発生した事案については迅速に対応する。
 - エ 体育大会、文化発表会、生徒大会、鳳鳴高校との定期戦などの行事を、生徒会執行部を中心に企画・運営し、生徒がそれらに生き生きと参加することを通して、部活動、生徒会活動の活性化を図る。
 - オ 生徒状況をよく観察・把握し、「いじめ」の認知に務める。認知した際には、いじめ対応チームの会議を開催し、被害生徒の救済に向けて速やかに対応する。（いじめ認知の取り組みの一環として、「いじめアンケート」を学期に1回以上行う。）
 - カ 生徒会、部活動、有志などによるボランティア活動（募金活動、校外での清掃活動等）に積極的に取り組ませる。
 - キ 教育相談、キャンパスカウンセラーの活用や中学校、保護者、関係諸機関と適切な連携をとり、問題の解決を図る。
 - ク 登下校の巡回指導や交通安全教育、不審者や情報犯罪などへの対応についても関係機関と連携を図り、協力して指導にあたる。
 - ケ 性教育、薬物乱用防止教育、インターネットによるトラブル防止教育などの講演会を効果的に計画、実施する。

3 健康管理に関する指導の重点

- (1) 学校における様々な学習活動・体験活動を通して、自ら健康で安全な生活を実現しようとする意欲・能力・態度を育てる。
- (2) 体育・スポーツ活動を始め、あらゆる教育活動を通して、公正・責任・協力等の心を培うとともに、生涯にわたって自他の健康・安全・清潔な生活を実現しようとする姿勢や態度を養う。
- (3) 家庭・学校医・関係機関と密接な連携を図り、一人一人に目を向けた適切な健康管理に努める。
- (4) 保健だよりをはじめ、感染予防、献血等のパンフレットの活用や啓発活動を通じて、自らを取り巻く健康問題を意識し、身近な健康問題から世界に広がる健康問題にまで 関心を高められるよう指導する。
- (5) 応急処置法の習得や防災訓練を工夫して、緊急時にも適切に対応できる能力の育成を図り、ともに生きていこうとする意欲や実践力を培う。
- (6) 性教育(エイズ教育を含む)、命の教育、薬物乱用防止教育などについて、講演会等を通して常に新しく、正確な知識・情報を提供し、正しい行動選択ができる力を養う。

4 研究テーマ

- (1) S・G・Hアソシエイト校として、「国際社会に貢献する高い志」と「愛郷の心」を持つグローバル・リーダーを育成する教育システムの研究開発
- (2) 研究授業・公開授業の工夫やアクティブ・ラーニング導入による授業力の向上、思考力・判断力・表現力を養う学習指導の充実による生徒の学力向上と進路実現
- (3) 文部科学省指定による「高校生の基礎学力の定着に向けた学習改善のための調査研究」
- (4) 特別な支援を要する生徒への指導体制の構築

5 高校生ふるさと貢献活動事業

- (1) 「ちょっとボランティア」
年3回、保護者等と連携し、学校周辺であいさつ運動、清掃活動を行う。生徒会を中心に、全学年からボランティアを募り実施する。
- (2) 小・中・高連携事業
コーラス部・吹奏楽部が地域の小学校や中学校と合同で地域の方々を楽しませる演奏会を実施する。サッカー部、野球部、テニス部、ソフトボール部、吹奏楽部が、小学生・中学生を招いて合同練習会を実施する。
- (3) 「ようこそ先輩コンサート」
地域の音楽家と本校コーラス部・吹奏楽部・ギター部生徒による合同コンサートを本校で実施し、地域のみなさんを招待する。

6 高校生就業体験事業

- (1) 「進路探究 WEEK」
大学や短大等から講師を招き、進路希望分野の知識を深めると同時に、各分野の内容の理解を深めることで、より円滑な進路実現を図る。
- (2) 「インターンシップ」「教員インターンシップ」
就職希望者等が、兵庫県庁、丹波教育事務所、丹波市役所、地元企業等において、教職志望者が、丹波市内の小・中・特別支援学校において就業体験を実施し、各職種や教職への理解を深める。
- (3) 「教員志望者セミナー」「看護師養成セミナー」
教員志望者、看護師志望者を対象に、それぞれ講義等を開催し、教職や看護職に対する理解を深め、意欲の向上を図る。
- (4) 「医療系進路説明会」「看護・医療に係る就労体験」
県立柏原病院等と連携し、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、薬剤師、歯科衛生士等による説明会、看護体験、理学療法体験等を実施して職業理解を深める。
- (5) 「模擬面接指導」
地域の企業、ハローワーク、PTA、学校が合同で就職希望者の面接指導を行い、社会人となる自覚を高める。
- (6) 「職業インタビュー」
1年生が職業に関するインタビューを行い、「働く」ことへの理解を深め、将来社会で活躍する基盤をつくる。

7 高校生キャリアノートの活用

1年生の進路HRや総合的な学習の時間の中で「高校生キャリアノート」を活用して、自分の適性を理解し職業観を確立し、適切な文理選択と進路実現に役立てる。

8 県立高校特色づくり推進事業(インスパイア・ハイスクール)

- (1) アメリカ・ワシントン州長期留学派遣・受入れ・報告会と交流会
- (2) 夏季休業中にオーストラリア研修、韓国金海外国語高校研修実施
- (3) 「ようこそ先輩!!!」国内外で活躍されている柏高OBによる講演会
- (4) イングリッシュキャンプ…オールイングリッシュによる言語活動
- (5) 韓国金海外国語高校から研修生徒の受入れ
- (6) SGHアソシエイト校事業研究発表会
- (7) 長期・短期留学生、海外研修景観生徒の報告会